

JRMA

## 福岡の家主と意見交換

全国的な物件供給過

剩により、賃貸経営は年々厳しさを増しつつある。こうした状況を反映してか、家主たちの間でも賃貸経営に関して情報を持ち寄り、互いに切磋琢磨していく会を作りたいたいという思いが強まってきているようだ。

8月5日、「賃貸住宅フェア2008 in 東京」会場内に設置されたオーナーサロンの

で、首都圏で活躍を続ける老舗オーナー会、日本不動産経営協会(JRMA)と福岡から賃貸住宅フェアに来場した家主たちの間で意見交換会が行われた。JRMAから目黒神谷会長ほか5名、福岡からは吉原勝己氏ほか5名の計10名が参加した。

福岡の家主たちは発足して27年が経過したJRMAの運営方法などに関して様々な質問をJRMAメンバーにつけていった。最も福岡の家主たちが驚かされたのは、JRMAの事務局及びに理事会は個人情報保護の観点から会員の名前とEメールアドレスしか把握していないということだったようだ。「当会は自主独立を

基本理念としています。多くは家主の会では不動産会社などが後援していますが、当会は全くそれがありません。そういったこともあり、会内部での営業活動は厳禁です。事務局は勉強会、合宿などのイベント企画・実行に徹しています。イベントの参加は会

員達にメールで呼びかければよい。会員たちの最低限の個人情報把握していれば、充分の運営は可能なのです」(目黒神谷会長)



▲真剣に語り合う参加者たち